

図の上部には、次の文がある。

家橘更

五代目尾上菊五郎

改名御披露

一、御町中様益御機嫌克被遊御座恐悦

至極に存上奉り升随而此度去ル御ひゐき

様の仰をほせニ八大江戸根生ねおひの菊五郎家名の

絶たゆるも歎なげかハしくぜひく改名致せよと難有

御進すすメに預り候へ共中く未熟不調法の私

思ひもよらず且かつ八世にかんばしき菊

の名をあたら泥どろによごし候義と達而

辞退仕候を再三さいさんの御進よぎなくに無余義

櫓相続やぐらひつづ之義は弟竹松え相譲り

菊五郎と改名仕候へバ祖父ちちいが佛おもかげハよし

なくとも弱よわきを助たすくる御見物なほゆく尚行々そへきハ添木に

離はなれ一本立の菊と成やう御引立の程偏奉希候

五代目

梅幸「印」

植付し爺が

手真似や作り菊